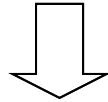


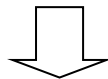
**平成28年度決算
守谷市公共下水道事業 キャッシュ・フロー概略表**

平成27年度末残高	38.5億円	← 平成27年度末現金預金残高は38.5億円で、これは平成28年度に繰り越しています。
-----------	--------	---



キャッシュ・フロー

区 分	差引現金預金	
業務活動	6.4億円	← 安定した下水道使用料収入と企業会計制度による適正な費用配分により、6.4億円の資金を確保しました。
投資活動	1.5億円	← 施設整備事業に伴い1.8億円支出したが、国庫補助金の収入があったこと等により、1.5億円の資金が増加しました。
財務活動	△3.0億円	← 新たな借入は無く、企業債の償還により、3.0億円の資金が減少しました。
計	4.9億円	← 結果として、平成28年度中の現金預金は、4.9億円が増加しました。



平成28年度末残高 (平成29年度へ)	43.4億円	← 平成27年度から繰り越された38.5億円と平成28年度で増加した4.9億円を加えて、43.4億円の残高となりました。これを、平成29年度へ繰り越します。
------------------------	--------	--

守谷市公共下水道事業のキャッシュ・フロー分析

公共下水道事業において、業務活動で得た6.4億円を投資活動と財務活動に充て、トータルで4.9億円の増加となりました。

全体的に見て、事業継続のための浄化センター改築更新工事も行われる中で、公共下水道事業の経営に必要な資金は確保されており、資金の流れも適正となっていることから、比較的安定した経営状況にあるといえます。引き続き、財務活動(企業債償還)に必要な資金の確保が必要です。